キティ・アニメーション・サークル会報

昭和61年4月1日普通郵便許可/昭和61年6月26日発行

MOVEMENT!

ムーヴメント





1986 **6/1~9/30**

SCRAMBLE 沖縄

夏は、島にゆく

ツーリストから夏のニューブランドが誕生しました。名前も「スクランブル沖縄」。お手軽な価格で、しかも質の高い沖縄が手に入る、とっておきのプラン。トロピカル&エキサイティングな海や街で、まんまアメリカ体験ができます。この夏は南の島へ緊急発進。

BEACH

SCRAMBLER BACK UP SYSTEM

スクランブル沖縄の参加者にもれなくうれしい 5大プレゼント

1. スクランブラーキット（役立ち小物がいっぱい）
   - ●リストポーチ ●エアーフリスビー
   - ●ボディシャンプー
2. パスポート型ガイドブック
3. バッゲージタッグ
4. ウェルカムドリンク
5. オリジナルTシャツ（6月に出発される方のみ）

さらに、スクランブルオリジナル

スクランブルチケット20点分

をさしあげます。ディスコからレンタカーまで、沖縄での行動半経をさらに拡げることうけあい。

詳しくは専用パンフレットをご覧下さい。

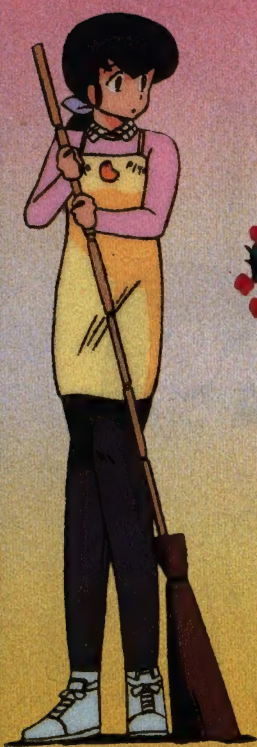
お申し込み・お問合せは……

主催  **近畿日本ツーリスト**

運輸大臣登録一般旅行業第20号









めぞん一刻

キャラクター クローズアップ

みなさん、こんにちは。ここ、時計坂競技場は緊迫の空気に包まれています。これよりめぞんキャラの大レースが行われようとしているのです。あ、選手の入場行進が始まりました。すごい歓声です。

★ゼッケン0番・音無響子、未亡人。高校の頃からテニスをしており、脚力には期待できそうです。現在、三角関係の頂点にいるのでバランス感覚もあるかもしれません。得意技「がんばって下さいね」。付記／ペーパードライバー。

★ゼッケン一番・一の瀬親子、大穴。賢太郎君がどれだけ母をカバーできるかにかかってます。得意技「母ちゃんやめてよ、恥ずかしいよ」。付記／夫人はよく響子さんのお尻をなでる。

★ゼッケン2番……あれ？2番はまだ到着していないようです。

★ゼッケン3番・三鷹瞬、ウワサの女殺し。対抗。テニスコーチだけあって、運動はお手のものでしょう。押しの強さも定評があります。得意技「キラッ」付記／大の犬嫌い。

★ゼッケン4番・四谷氏。名前も職業も不明、謎の選手です。グサッと胸をさすコトバと無神経な性格でレースの展開をにぎりそう。得意技「壁破り」。付記／趣味はのぞき。

★ゼッケン5番・五代裕作、本命。浪人。あ、失礼しました、大学生でした。いじめられても自殺しない不屈の根性を、このレースで生かしてほしいものです。ただ、途中で妄想癖が現れるとコースを踏みはずすおそれもあります。がんばって走れ、犬に負けないくらいに。得意技「響子さん、好きじゃあ」。付記／「天の岩戸」という芸もあるらしい。

★ゼッケン6番・六本木朱美、スナック茶々丸のウエイトレス。す・す・すばらしいスポーツウェアです……。ネグリジェのようにも見えますねぇ。得意技「わっ！」。付記／四谷と絶妙なコンビネーション。

レースはまずこの6人で始まりますが、まだまだ新たな選手がレースに参加する予定です。あっ、次の選手が見えてきました。あれは女性かな——？

この先が非常に楽しみですねぇ。我々も期待に胸ふくらませ成り行きを見守りたいと思ってます。





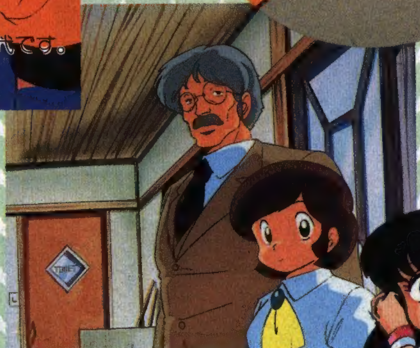
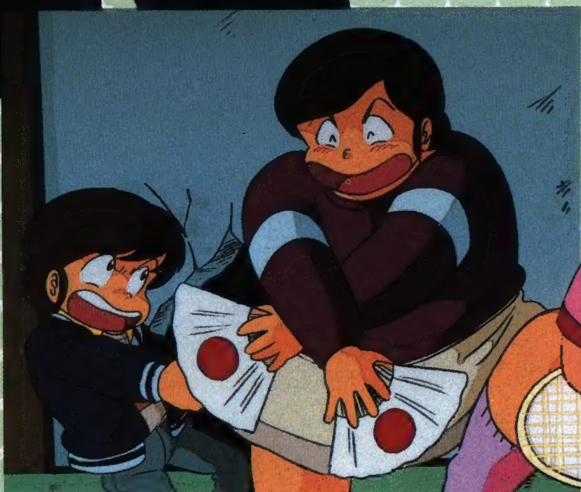
◀ホラッ。チビに似てるでしょ。

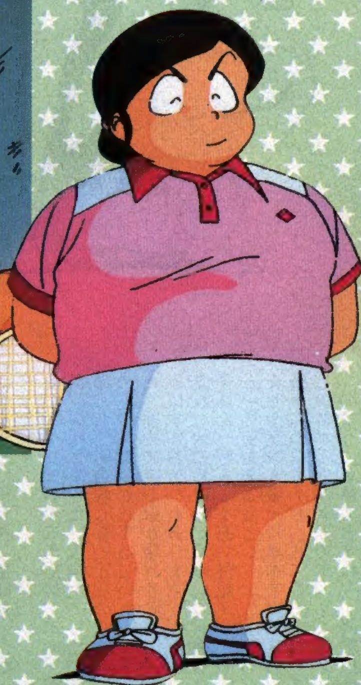
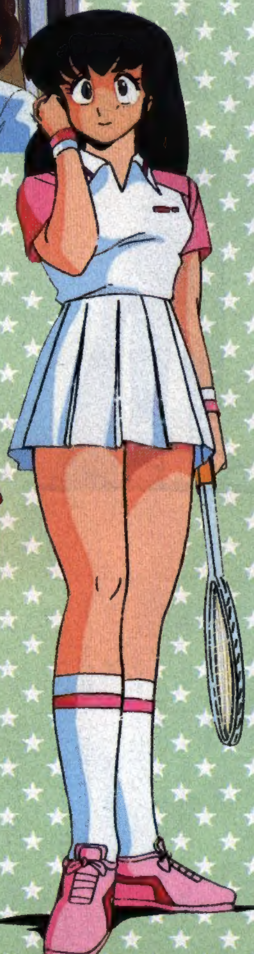
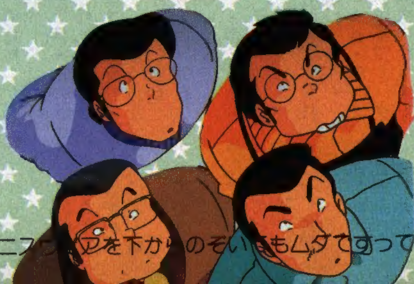


散りゆく花びら…星空に見つめられて、たまにはまじめな五代です。しっかり前を見て歩こうね。




◀女子高生に笑われれば本望だい。

テニスウェアを下からのぞいてもムダですってば。

朱美さんらしいカットですねえ。
顔がですよ、顔が。▼



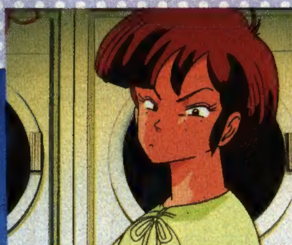
悩殺



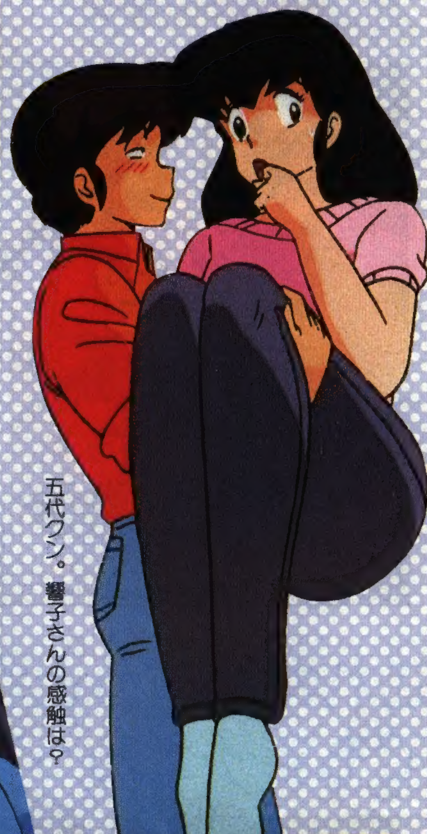
四谷さんでも冷や汗をかくことがあるんですか？



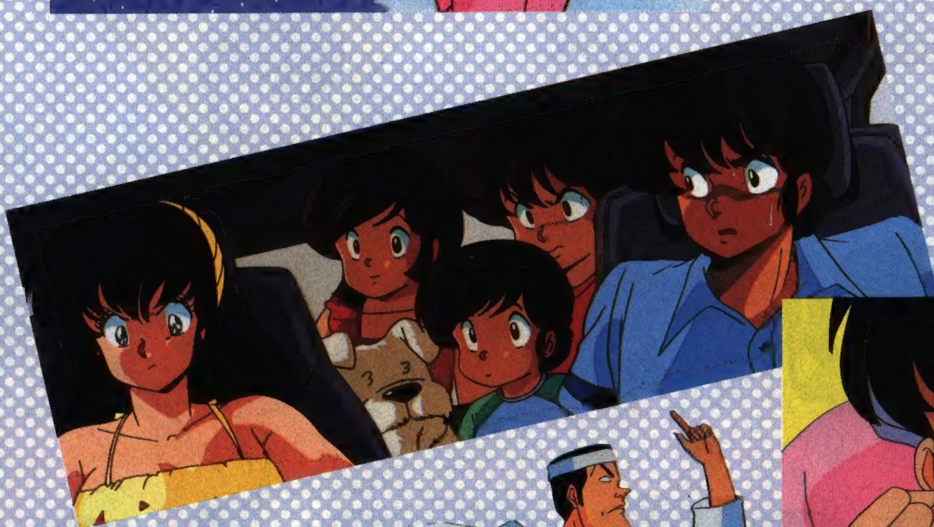
「おーい。響子」「はあーい！」……いいなぁ〜。



▲「ン！ノーパンだな」。この人一体何の仕事してるんでしょう。



五代クン。響子さんの感触は？





アントォニオー、猪木ー！▶



▲「いいかげんにしなさぁーい！」
やるときゃやります。響子さん。

◀アダルトアニメでもいけますね。



▼耐えよう！耐えよう！



▶はい、大当り。五代クンの生きざまをそのまま表してるネ。





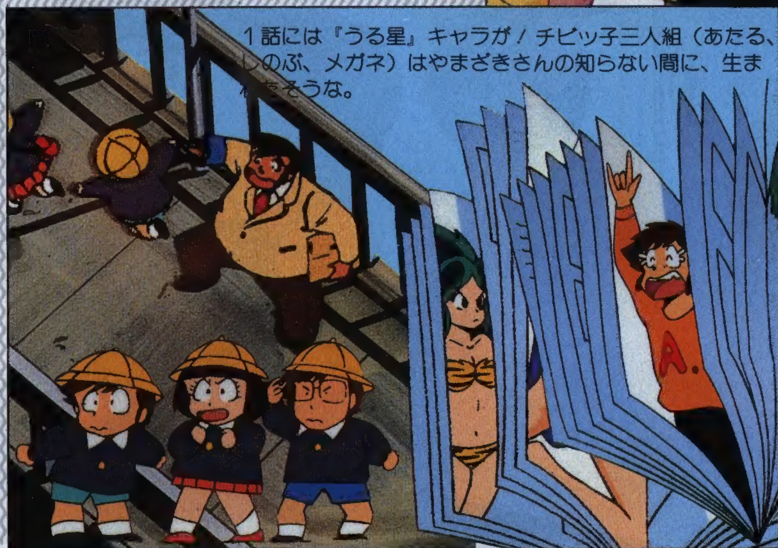
なんなんだ、この静けさは！











1話には『うる星』キャラが！チビッ子三人組（あたる、しのぶ、メガネ）はやまざきさんの知らない間に、生まれたそうな。



▲すみません。ちょっとインタビュ……うわっ！

響子'S コレクション

コスチューム・バリエーション



これだけ揃うとさすが目うつりしますネー！
でも響子さんって、ピンクがお好きなようですね。



めぞんスタッフ 大いに語る!!

あれや、これや気になる『めぞん一刻』ファン代表が製作スタッフに肉薄!!

出演者
●スタジオ・ディーン
やまざきかずお
吉永尚之
鈴木　行
向後知一
●ファン代表
阿部龍浩
岡本紀夫
松原裕雄

「今度ディーンの人達と座談会をやるんだけど、来れる？」こんな電話が舞い込んだのは、K・A・Cのスタッフ募集に申し込んでからしばらくたった日のことでした。「いきなりディーンの方々と会うのか！」

こ、この僕が『うる星』、『めぞん』にのめり込んでまだ1年しかたっていないのに！うーん夢じゃなかろうな、と思いつつ、K・A・C事務局の人と、やはり応募した同じファン代表2人と共にディーンへ。スタジオの前には、トヨタ・スープラが止まり（これは社長の長谷川さんのクルマかと思ったけれど、実は制作デスクの半澤さんのでした。スゴイですねー）バイクも所狭しと置かれていました。

皆さんの名前が書かれたタイムカード、動画の山、スケジュール表などをながめているといきなり西村純二さんが入ってきて「何だ知らない顔ばっかりだなあ」と。そして近くの喫茶店で待つこと数分、何とC・Dのやまざきかずおさんを先頭に吉永尚之さん、鈴木行さん、向後知一さんと『めぞん』の演出家の方々が勢ぞろい。幕は切って落とされた！



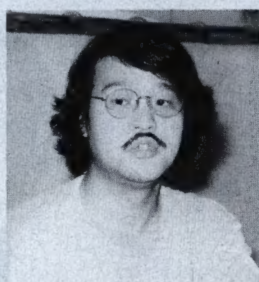
『めぞん』ですか…？難しいです、はっきり言って。

——原作では「うる星」が中高生で、「めぞん」はその上が対象年令だと思うんですが、アニメではそれが逆になっているという感じで、そういうところでは対象年令に対して意識はしませんでしたか。

やまざき　んー、そういう風に見えるっていうのは、初めて聞いた話で、えーって思ってるんだけど、そうかなあ。うーん。一番初めはとにかく全部抑えて地味に地味にいこうと。高橋さんのキャラクターっていうのは、ステレオタイプでとにかくバイタリティーにあふれてて、おじいさんから子供に至るまでの幅がすごく広いのね。だからどんな風に表現しても、そんなに崩れるもんじゃないっていう見込みがあって…。放映見てわかるだろうけど、1話からずっと仕掛けていこうって思ったんだけどね。色の与える印象っていうのがあんなに強いもんだということに現場の人間が結構ショックを受けて。原色ではないけれどみんながわかりやすい色合いでもって、心が浮き立つような色のバランスっていうところから物を考えていかないと、ちょっとヤバイなっていうのがあって…。同じ場面でね、色彩が地味なのと、ある程度アニメ的なのとでは心の浮き立ち方が全然ちがう。1話みたいに地味に抑えてやった時に、初めからアニメ的な作品世界だよっていう色合いだったらアハハおかしいなですんじゃうことが、許されなくなっていっちゃう。四谷とか朱美とか一の瀬の存在がかなり非人間的に映ってしまう。ちょっと五代に（対して）余りにもひどすぎるんじゃないかって。で、まあそういうところで、今の色調になってきたっていうところがあるわけ。

——（K・P2号を見せながら）個人的な意見なのかもしれませんが、この「不満！ふまん！」のようにもっと年令層を上げてほしいという意見もあるんですが。

やまざき　うーん。今、実際の作業は19・20話まで進んでて、僕達が話をするとなると、まだフィルムになってない話まで作業が進んだところでの『めぞん』観っていうのがあるわけ。でもみんなは8話まで放映されたところで話してるでしょ。だからそれについては、「もう少し見てごらん」っていうのがとってもあるけれど。


CD・やまざきかずお

——皆さん『うる星やつら』を演出してこられたわけですけど、今度の『めぞん』はどんな感じですか。

鈴木　『めぞん』ですか。『めぞん』…難しいです。はっきり言って。

やまざき　基本的にはずっとアニメーションをやってきたことの延長線上で、今『めぞん』をやっているわけで、細かい処理とかは変えるかもしれないけど、自分の方法論——アニメーションとしては変わってないつもりなんですけどね。

——『めぞん』も自分の手がけてきた仕事のひとつとして見ているわけですか。

やまざき　やっぱり僕にとってTVアニメって何なのか、原作物って何なのかっていうことで

ファン代表、激話！
めぞんスタッフ・インタビュー

すから、『めぞん』もその延長線上で考えています。

吉永　最初入ったときは、基本的に『うる星』とテンポがちがうからそのへんがちょっと…。ま、（鈴木）行さんと同じで難しかったけどね。高橋さんがすごいと思うのは、ワキ役でも誰でもキャラに魅力があるから、コンテ描いててもそういう面で『うる星』と一緒なんじゃないかっていう…ただ視点がちょっと変わるから。でも（高橋留美子の）世界があるとしたら、おんなじだと思うけどね。

向後　僕は今までこの作品をどう演出していいかつかめていなかったんですけど、やっと最近見え始めてきたところで、これからだんだんやりやすくなっていくんじゃないかと。

――演出の作業の上で最も苦労するところはどういう点ですか。

鈴木　人によって一番最初で苦労する人もいれば、撮出しや編集で苦労する人もいるし…。

――鈴木さんはどうですか。

鈴木　んー、僕の場合は…平均的に、…ですね。（笑）

――最終チェックの段階で、もしリテークが出ても放送には間に合うんですか。

鈴木　一応、スケジュール上、最終チェックは間に合うように置いてあります。で、その段階でやむを得ず出してしまったものは、その時その時によってスケジュールの調整をするという形をとっています。



演出・向後知一

――演出の仕事で一番忙しいのはどういう時ですか。

向後　それはもちろん撮出しとコンテが重なった時です。

（一同笑）

やまざき　そうだね。それは言える。（笑）

向後　（ボソッと）これほど忙しい時はありません。

――撮出しには何日ぐらいかかるんですか。

向後　大体3日ぐらいですね。

やまざき　その上にコンテUPがかかると、もうどうしようもないでしょ。

向後　これはやった人じゃないとわからない。

吉永　それに持病が重なると地獄になるんだよね。（笑）

――吉永さん、持病って何ですか。

吉永　（困ったように笑いながら）いえ、特別ないです。（笑）

はじめにアップを見たら どうしても津軽三味線だった！

――シリーズ物ということで特別設定に気をつかう部分はありますか。

やまざき　（『うる星』とちがって）作品世界の裏設定っていうものをもっときちんとお話の中に織り込んでやらなかったから、ちょっと不具合が生じたんじゃないかと。僕らはみんな読んじゃってるから、例えば「がんばって下さいね」と送り出すにしたって、あれは単に管理人として言ってるだけなんだよね。初めて見る人に対して「私は惣一郎さんの妻です」っていう裏設定の部分の押さえを、はっきりさせておくべきだったなということがあるね。

――『うる星』はよくオリジナルがあって、『めぞん』は第3話に少し入っていた程度だったんですがオリジナルということに関してはどうですか。

やまざき　オリジナルの入りようがないっていうのが、やはりありますね。構成の妙には舌を巻くくらいで、（クリスマス）プレゼントだってしっかり使い回ししてるし、そういうところでは下手にいじれないところがとってもあるのね。だから（オリジナルは）なかなか難しいね。ただ個々のエピソードをふくらませるっていう事では結構出てくると思うよ。原作の中の切り捨てる部分とふくらませる部分で、フィルムに翻訳してゆくってことだから。

――今までの放送分で原作2話分を1話にまとめている話もありますが、そういうところはどうなんでしょうか。

やまざき　2本にのばすよりは1本にまとめちゃった方がいいよっていう場合は、まとめています。（シリーズ）構成をやったところでね、響子さんの両親が出てくる話、原作では5話あるんだけど、それを5本にして毎回やるわけにはとてもいかないわけ。それで3本にしてつめてるんだけど、あれ5本やっても困ってしまうしね。

――どうしても原作と季節的にずれが出てくると思うんですが、それはどうするんですか。

やまざき　毎週毎週（アニメを）見ていくと、とってもテンポが早いのね。もうこちら側の作業では2年目の正月過ぎてるしさ。

（えぇーっというK・A・Cスタッフの声）そういうところではサイクルが早いんだけど、それを単に放映時の季節に合わせるだけで改変していくと、とんでもないことになってしまうから、素直にやるしかないしね。原作、追い越すことはないよ、絶対にね。

――演出のローテーションというのはどうなっているんですか。

吉永　大体、間3〜4本っていうところですね。

やまざき　作品で見ていってほしいなっていうところがありますね。個々の担当した作品ひとつひとつっていうのも大切なんだけど、ひとつの大きな流れの中で見ていってほしいなと。こういうシリーズっていうのは、全部見終わってみて「あっ何が残ったかな」っていう感じだと思うのね。

――『めぞん』で演出上気を使っている点というのはありますか。

吉永　『うる星』ではキャラ表も設定もいらないわけですよ。頭に全部入ってるから。（笑）それが『めぞん』の場合は「ここに電話がある」とか設定を見なくちゃいけない。最近やっと部分的には覚え始めてきたけどね。

やまざき　例えば茶々丸がどこにあるとか、西時計坂がどっちだとか、これはもう、まちがえないよう統一してあるわけ。最初に、一刻館に夕陽が当たったんじゃあ、うらさびしすぎるかなと思って。ある意味で一刻館



演出・吉永尚之

ファン代表、激話！
めぞんスタッフ・インタビュー

は朝陽の当たる家なんだと。
——ところで五代君の田舎はいったいどこなんですか。
やまざき　新潟でしょうね。
——じゃあ何で5話で津軽になっちゃったんですか。
やまざき　いや、あれはイメージとして津軽なんで、五代の田舎はやっぱり新潟だっていうことでだいたい一致してるの。それは高橋さんが新潟でしょ、あと田舎へ帰った時の風景とかで、まあそうなんだろうと。おばあちゃんはねえ、あれはいちばんはじめにアップを見たら、



どうしても津軽三味線なんだよ。（笑）ただ、『めぞん』はそういう思いつきでつくるような作品じゃないんだよっていうのが今ではあるよ。うん。
——『めぞん』のギャグは、どういう感覚でやってらっしゃるんですか。
やまざき　割と実写でやっても「おかしいや」っていう感じのギャグだと思ってる。ゲラゲラ笑いではないね。雰囲気でおもしろいっていう感じで。
——会話のチグハグさとか。
やまざき　そう。だから逆に難しいんだなって。
向後　実際の微妙な間のとり方っていうのは、作監と演出とが相談して調整するんだけれど。
やまざき　それは多分に個々の演出の判断にかかってるの。シートチェックとかいろいろやってるからね。そういうところは『うる星』と変わってみて静的な部分で（間が）あいたりするわけだから、それは本当に大変ね。
向後　そうですね。
やまざき　芝居だったら、役者がかけ合いながら自然に間をとれるでしょ。だけど絵で動かす場合、つくり手がタイムシートに定着させているからね。
——原作だとアブナイようなことばとかシーンはアニメではどうなるんですか。
やまざき　それはね、テレビっていう媒体を使うにあたっての制約っていうのは歴然としてあるんで、これは実写でも、それこそニュースでも同じことなんで、制約で××になっちゃう部分がそう感じられるのかもしれないけれど。8話なんかは結構そういうような部分なんじゃないかな。また「やりたい」っていうことばひとつとっても、そういうものを狙ってつくられてる話っていうのはそんなに数多くはないんですよ。後は絵的なもんで、裸の響子さんが出てくるかこないかっていうのは、僕はひとつには読者サービスだと思ってるし、朱美さんのにしてもそう思ってしまえばいくらでもできるんだけれど、初めは慎重になってたところはありますね。惣一郎に（響子さんが）抱きついての裸っていうのは、今だったら描けるかなとは思うけど、やっぱりあの段階では二の足踏んでしまってね。『めぞん』というシリーズが、やっとここにきて安定してきたんで、現場サイドがこういう言い方をしてはいけないかもしれないけど、感触としては「あっ、こういう感じだな」っていうのが、やっと、つかめてきたところではあると思う。

高橋さんの言う通り、これがベストキャストだと思うけど。

——声優さんのイメージはどうですか。
やまざき　島本須美ですよ、やっぱり。（笑）僕（オーディションの時に）いろいろ聞いたのね。で、実際今声当ててもらって、やっぱり島本須美だね。（笑）だって異存ないでしょ。（笑）（注：島本須美さんに関しては、原作者の高橋先生が強く推薦なさったといういきさつがあります。）
——実写でもいけるなって感じですね。
やまざき　うんうん。ひとつウラ話してあげるよ。この人本当に響子だなって思ったことがあるの。1話の放映日にね（『めぞん』のアフレコは水曜日の夜なのです）、アフレコ始まる時に島本須美がトントントンと上（調整室）へ上がってきたの。それで「すいません斯波さん、ビデオありますか？」って言うの。でみんなはビデオカメラで何かを撮りたいんだなって思ったの。そしたらどうも話がちがって、「今夜の7時の4チャンネルと、7時半からの『めぞん』の1話を録らせて下さい」って言うの。で、「ああそういうことか」ってわかったんだけど、「7時から始まる4チャンネルにはウチの旦那が出ていて」って。（笑）それで僕らみんなあっけにとられてるわけ。でポンポンポーンとしゃべって、「じゃお願いしまーす」って下りていって、みんな毒気を抜かれた感じでしばしそこに間があって、「おもしろい人ですね」って、ひとしきり騒いでたの。（その時）僕も初対面でですよ。そしたら「でも、ベータ・VHSのどっちなんでしょう」（笑）結局言わないで下へ行って作業に入ってるの。あの人自身響子さんみたいに一本すーっと抜けちゃってる感じですね。これがベストキャストじゃないかなと、僕は思いますけどね。
——んー、声質はいいんですけど、ちょっとトーンが高いんじゃないかな。
——えっ、僕はいいと思うけどなあ。
やまざき　うん、それは人によってちがうと思うんだよね。でも8話の「わたしダメだな。女ってダメだ」っていいセリフでしょう。
——ええ、あそこは声が少し低目になりましたね。
やまざき　それは（声の）使い分けだと思うのね。例えば響子さんがあれくらい落ち着いたしゃべり方で全編通したら気持ち悪いと思わない？（笑）



——それはありますね。けれど一刻館に来た時の響子さんというのは旦那が死んでからまだ半年しか経ってないんですよね。原作だと21才ぐらいなのに、落ち着いてるなっていう印象があったんですけど。
やまざき　（響子さんが）一刻館に初めて来た時は、まだ住人達ととけ合ってない部分がある

ファン代表、激話！
めぞんスタッフ・インタビュー

じゃない。それがだんだん慣れてくれば地が出てくるというか、明るくなっていく感じで、響子さん自身何考えてんのかよくわからないけど（笑）そのへんの天真らんまんさがいいっていうところあるでしょ。だからそこではアニメ的に、高くて明るい



声になってもいいんじゃないかな。抑えるところは抑えてくれれば。うん、僕は響子さんに関して言えば、ほとんど何もないね。ただ『うる星』もそうなんだけれど、高橋さんの作品って見ている人の思い入れがとっても強くなっちゃう。だから半年にしろ新婚生活を送った、年上の未亡人という概念が無意識にでも頭の中にあると、響子さんに対して年上の女のイメージで声を聞いているところがあって、それでもっとしっとりっていう気分になっちゃうんじゃないかな。響子さん自身の背景を踏まえた上で、声優さんにしても現場サイドにしても、いかに魅力あるキャラクターをつくるかっていうことだから、それでトーンが高くなるっていうのはいいのではないかなって思うけどね。

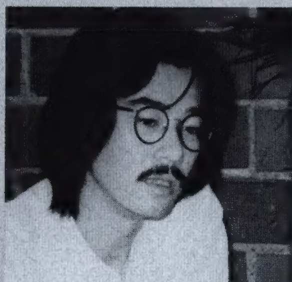
――ええ、そこらへんはたぶんファンの感じ方の差があると思いますね。アニメーションとしてはあのくらいの声がベストだと言うことですか。

やまざき　うん、だと思うね。それに今回に関しては新方式を採用したからね。（笑）あのね。各声優さんのオーディションテープがあるでしょ。特別にセリフをあてるわけではないんだけど、カセットを順番に、響子、五代と聴いてそのあとに役柄の人の声を聴くわけ、それで声のトーンが合う人を選ぶようにしたんですよ。三鷹まではこうして決めたんですよ。

まだまだ聞きたいことが山ほどあったけど無情にも時間が……。吉永さんはすでに地獄の一歩手前とか、やまざきさんはよくお話しして下さり、向後さんの鋭い一言、鈴木さんの細かい演出の説明と盛り上がった座談会となりました。ほとんど初心者のファンの僕にとって、「僕でよかったのかしら」という不安は残るものの、「やる気を出せば道は拓ける」という今回の取材は、大変勉強になりました。最後になりましたが、お忙しいなか時間をさいて下さったスタジオ・ディーンの皆様、ありがとうございました。

演出の主な仕事と作業行程略図

1. シナリオ
2. 絵コンテ
3. 作画打ち合わせ
   - 原画
   - 動画
   - 背景
   - 仕上げ
4. 撮出し
5. リテイク
6. アフレコ
   - 編集
7. 初号試写



演出・鈴木　行

❶脚本が出来上ったら、その話数の持ち味、ポイントをCDと打ち合わせ、作品全体の流れをつかんでおく。

❷演出の持ち味が出るように、画面構成を考え、絵コンテの作成に協力する。

❸ポイントを原画に伝え、上ってきたものが、意図通りかをチェックし、作画監督にまわし、それぞれの原画の絵の統一をはかる。同時に背景・色指定打ち合わせを行ない、イメージを伝える。

❹セル画と背景を合わせ、イメージ通りの画面になっているか調べ、この時点でタイムシートに照らし合わせながら、動きや間合いのタイミングをチェックする。良ければ撮影に廻し、撮影監督にポイントの指示をする。

❺各シーン毎に上って来たフィルムを一本につなぎ（オールラッシュ）、撮影ミス、色パカ（色ちがい）等の間違いがあったら、各セクションにリテーク出し（やり直し）をする。

❻編集でテレビ用の長さにフィルムをつなぎ、アフレコ・ダビング現場に立ち合い、セリフや音楽、効果音が意図に沿っているか確認する。

❼音の合わさったフィルムをCDと最終チェックをし、OKなら現像所に回わし、初号試写となる。

▼以上の行程に全部責任をもってチェックを入れ、一本の作品の統一を指揮するのが演出である。

扉を開けて

『扉を開けて』スタッフ発表!!

原作　新井素子（CBSソニー出版／集英社コバルト文庫刊
製作　多賀英典
企画　落合茂一
プロデューサー　古川　稔／出崎哲
脚本　小出一巳／出崎　哲
監督　清水恵蔵
絵コンテ　出崎　哲
演出　冨永恒雄／金子隆俊手
作監　小林ゆかり
キャラ　四分一節子
音響監督　斯波重治
企画協力　竹宮惠子
製作協力　マジック・バス
製作　キティ・フィルム

全国東宝系今秋公開予定



ネコちゃんは魔女…。指先ひとつで物が踊り出す。→

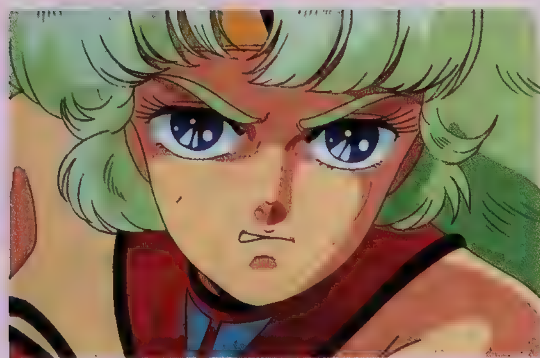


↓タバコなんか勝手に飛んでくる。これは便利だ！（透過光ズレ→リテーク!!）



自分の能力を隠し、ひたすらイッパンタイシューしようとしても… ストレスたまるわァ。↓

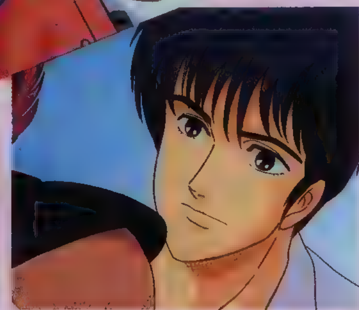
退屈な学生々活にいささかうんざり。



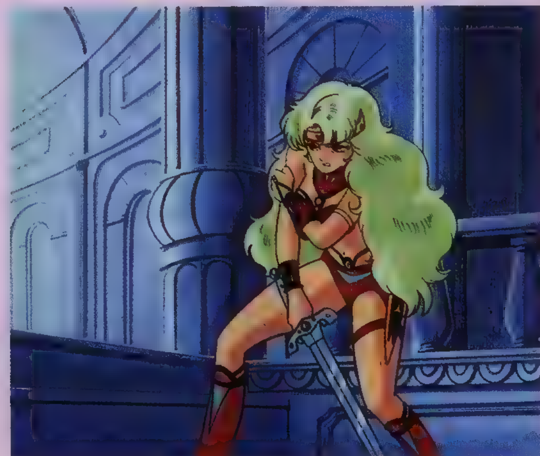
その気性から"東の国の鬼姫"とおそれられるディミダ。だが、その本質は美弥子の鏡？



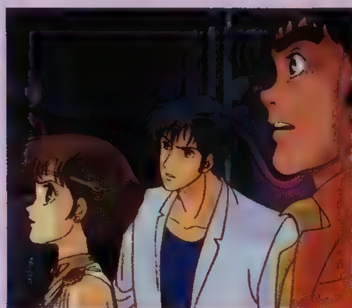
ディミダの好敵手となる黒騎士。



原作より多少若い杏。"女殺しのハルカちゃん"と呼んでくれ



黒騎士との戦いで傷つくディミダ。



素子先生によると原点は「西遊記」だと。すると杏は沙悟浄。桂一郎は八戒？



敵の中将軍アルタリアだ！文句あるか!!

原作者と監督が語るアニメ感!!

原作者に直撃!

素子姫に聞きました



写真では、わかりにくいと思いますが、素子さんが着ているのはナント『めぞん一刻』のトレーナーなのです!

このインタビューは、先のファン大会用の『扉を開けて』特報の為に行われた、ビデオ取材から再録したものです。

――原作が発表されて五年経つのですが、その頃の想い出とか、エピソードがありましたら…。

新井　そうですねェ、最初〝奇想天外〟って言う雑誌に載ったんですけど、丁度その雑誌が潰れる直前で、まァお世話になった雑誌なんで、終刊号には何か載せたいなって思って…。でも最初3回連載の予定だったのが、やっぱり原稿集まらないのか、2回にしてくれって途中で言って来て、一応上・下に分けて渡したら結局一挙掲載になっちゃって…、それで終刊号には載り損なったんですよね。

――今回、初めてのアニメ化と言うことですが。

新井　まァいいものができればいいなって思いますけど…。そうですね、この間、『キャバレー』って映画で栗本薫さんが大変いいことおっしゃっていたんですけれど、…小説は自分の子供かも知れないけど、映画になるとそれは角川さんの所へ嫁に行ってできた孫みたいなものだから…。って、私もそう思うんですよね。

――では、内容に関してはスタッフに完全に任せきりですか?

新井　…です。私は自分で小説を書いている時に、ここはもっとこうした方がいいとか、他人に言われるのはとってもイヤなんです。

だから多分監督の方も、映画作ってる時に脇で、ここはもっとこうしてくれないと原作と違うとか、ここはこうした方がイメージが、とか言われるのイヤだろうと思うんですよね。

で、まぁ自分でやられてイヤなことは、他人にもするのはよそうと…。

それにそういうことしたくなる位なら、最初から映画の話なんて受けなけりゃいいんだし…。(笑)

――ところで脚本とか、お読みになったと思いますが。

新井　えェ、面白く拝見しました。特に後半の方とか原作と随分違うんで、「へェ、こんなんなったァ」とか、「あーッ、この子がこんなことやってるぅ」とか、原作と違うとこ見つけて楽しんでるって感じで…。

――キャラクターの方は?

新井　ワリと可愛いんじゃないでしょうか。…イメージのこと言い出すと、原作で髪が長いって書いたのにブッツリと切られてたりとかありますけど、まァ小説の挿し絵なんかでもよく引っくり返ることありますから…。(笑)

それに、もともと内面の方が描きたいって言うか、外見を文章で書くのって好きじゃないんです。むしろ読む人が各々想像してくれる方が嬉しいんで…。

――じゃあ、特に異和感とかは。

新井　んー。失礼な言い方かも知れないんですけど、読者の方からイメージ・イラストとか送ってこられた時に、あゝこの人はこんな風に思っているのかって、…それに対して私のイメージと違うとか、文句言う筋合いのものでもないし、それと同じ様な感覚の楽しみ方をしていますから…。

――最後にひと言、読者の方へ。

新井　エーッと、今度私の『扉を開けて』と言う小説がアニメ映画になります。興味があったり、観てもいいなって方は御覧になって下さい。自分のイメージ壊れるからイヤだって人は是非観ないで下さい。

これ、マズかったら切って下さいね。

――いやぁ、よろしいんじゃないですか(笑)

どうも有難うございました。



退屈そうな美弥子(通称ネコちゃん)

素子先生のアニメ版『扉を開けて』に対する姿勢はハッキリしている。このインタビューの中でも触れているが、「原作は原作、アニメはアニメ。出来上がった作品を、観客の立場から見せてもらう」と言うもの。

字面だけで読むと随分冷たい態度の様に受け取られるかも知れないが、決してそう言う訳ではなく、原作者としての確固たる見識の表われと思う。そしてアニメの製作サイドからすれば大変有難いことだと思う。(もっとも、宣伝サイドからするとやりにくいけどね)

とにかく、完成したフィルムを見て頂いた時に満足してもらえる様、いいものを作りたい。

君は自分の扉を開けたことがあるか!?

熱を込めてスタッフは語る

「原作とどれくらい変わるんだろう?」こう思っている人も多いでしょう。我が編集部はそんな点も踏まえ、『扉を開けて』を浮き彫りにすべく、制作スタジオに伺いました。応えて下さったのは、監督の清水さんをはじめ、プロデューサーの出崎さん、脚本の小出さん、キャラクターデザインの四分一さん、作監の小林さんの方々です。

——『扉を開けて』は簡単に言うと、どんな作品でしょうか。

清水 えー、超能力をもった自閉症的な女の子が、仲間を見つけてある扉を開けると、違う世界に行っちゃうと。そこで自分の中の扉を開けて新しい自分を見つけ、元の世界へ帰ってゆくという話なんですけどね。

出崎 うーん、(清水)恵蔵さんは思い込みが強くてまとまらないと思うんですけど。まあ、そういう新井さんの世界にのっとって、ボクらがこうだったらいいなあっていうことをのせていくというかね。そんな感じなんですけど、最初に「新井さんのこの世界を通しての思い」みたいなものから入りまして、議論を戦わせて「こんな風に色付けしてみたい」ということを半年かけてやりました。で、これは「1人の女子大生が、ある経験を通して自分を突き抜けて、本当の意味での青春をこれから送るようになるんだ」というものができればいいなということで、じゃあ一体どういう経験を積めばそうなるかというところで、非常に苦労しましたね。1度つくったシナリオをこわして、再構築するという作業もやりましたし。


監督・清水恵蔵

——原作と変わったような点というのは…。

清水 ラディンなんかは変わったように見えるんですけど、実質は変わっていないんですよね。

出崎 そう。精神的なものは変わってないね。

——では原作から逸脱したようなところはないんですか。

出崎 ないね。そういうのは余りすきじゃないし、やってないです。

——ファンとしては、原作の意図するところを描いてほしいということがあると思うんですが。

出崎 そういう意味ではバッチリ沿ってますね。(笑)沿うようにアレンジしていくんでね。

——シナリオでは原作とのからみというものはどうなんですか。

小出 あれは新井さんが高校から大学へ行くぐらいの作品でしょ。だからそういう年頃の女の子から見た世の中とか、友情とか、愛とかいうものを、自分の感性で原作の中に入れてあるわけね。そういうものを主人公を通してどう拾い上げていくかという形でやりました。何に力点を置いたかというと、ストーリーよりもワンシーン・ワンシーンにそういうものをどう散りばめていくかということでね。

——そういったものを監督されていくという点でのご苦労はありましたか。


右から2番目/脚本・小出一巳

清水 結局(美弥子とラディンが)これは自分なんだっていうことを絵にしてゆくというところで、苦労しましたね。でもそれで美弥子を浮き立たせることにもなったし。

——四分一さんはキャラクターを起こしてゆく上で苦心した点というのはありますか。

四分一 原作を読んだ時にパッとひらめいたものと、後で頭で考えたものを一緒にしていくのが難しかったですね。いろいろ他の人と議論したりもしますしね。

出崎 ボクがいろいろ言うんですよ。(笑)みんなそこでまいるんだよね。(と他の方々に)デュラン3世だって、ミック・ジャガーとデビッド・ボウイを混ぜろとかね。

——美弥子に関してはどうですか。

清水 美弥子は、ラストへいくともう受け身でね。いろいろな心情がかきまぜられて、最後で生理的に、剣を構えてしまうんではないかなという話もしてね、なかなか意見が合わなくて相当モメましたけど。(笑)

出崎 作品に関わる主な人達が議論するというか、そういう雰囲気をすべての人達が持てるといいんですけどね。

——できればつくり手側が共通したもやもやみたいなものを共有できればいいんですね。

出崎 そうね。特にこの作品はそういうものを呼びおこすんだよね。でも暗くするのだけはイヤだったんで、そうはなっていないんですよね。

清水 (小林さんに)それでだいぶ苦労したでしょ。

小林 キャラクターで、四分一さんとイメージしていたものとだいぶ違っちゃったんで。(清水さんら、思わず苦笑)

——では最後に監督さん、お願いします。

清水 新井さんの原作に、アニメーションで味付けをして、はっきりとエンターテイメントになっていますから、楽しめると思います。期待して下さい。


キャラ・四分一節子　作監・小林ゆかり

ということで、インタビューを終了しました。つくり手のみなさんの姿勢にすごく気持ちのいいものを感じ、「これはいい映画になるぞ」と思いました。みなさんどうもありがとうございました。





うる星やつらパート5アイデア結果発表

残念!! G・Pの該当作ナシ。

♥君の作品は選ばれてたかナァ?

●賞●

優秀賞●ヘッドフォンステレオ
佳　作●文具セット

選考にあたって

思っていたより力作が集まったと思います。しかし応募規定外だったり、何を勘違いしたかパート5の資金集めのアイデアを送ってくれた人もいたりして…ウーム。

ところでパート5は、やはり1〜4で使った〃ラムまたはあたるが居なくなった〃とか、〃夢〃や〃伝説〃をモチーフとしたものとかのパターンは使いたくないと思います。（寅さんじゃないんだから毎度おなじみ…ってのはよそうよネ）

また、K・P2号で落合さんが言われている「映画＝娯楽なんだから〃考えさせられる〃ではなく〃おもしろい〃パート5にしたい」。その辺を規準に選んでみました。その意味でグランプリとするに足る作品はみあたらないとの結論に達しました。

優秀作の杉浦君は、肝心のラム星の崩壊の原因と、その救済策までアイデアが及んでいないのが残念ですが、物語の根源で看過されていた疑問を取り上げた着眼を評価しました。同様の着眼をした作品もありましたが、主人公達の性格設定を変えてあるなどで、一番素直な作品を選んだと言うことです。

もう一点の優秀作、薄井君の作品は、ありがちと言えばそうなのですが、あたるのキャラクターをうまく捉えている点が評価できます。

もうちょっとで残念だったのが佳作の3点。

森さんのは「時間と平行宇宙」なのですが、ラムではなくあたるが平行宇宙をさまようのは意外に逆転の発想でおもしろいのですが、ただ最初のあたるの動機付けが弱いと思います。

角谷君のは劇中劇の部分をふくらませればおもしろくなりそうに思うのですが、全体に短かすぎる印象です。

伊達木君の作品は「10年後」に正面から取り組んだ点と、ラストが評価できるのですが、娯楽的要素が弱く…お昼のドラマっぽくなってしまいそうなのが惜しい。

等々。

優秀作2点発表

パート5・アイデア

静岡県浜松市・杉浦　武

ある日、例の2年4組の連中に「なぜラム星が地球を侵略しようとしたか?」が話題に上がった。しつこく聞くあたる達にラムは硬く口を閉ざす。

そんな時ラムの父からラム星が再び地球を侵略しようとしている事をラムは聞く。一度星に帰って来いと言う父の言葉をラムは拒み、あたる達の住む友引町に留まり、地球を侵略しないよう父にたのみ、一度は承認させる。

友引町の夜、楽しい一家団らんの時、星空を裂きラムの星の母船が現れる。侵略が開始されようとしているのだ。母星と地球の板ばさみとなり迷うラム。

あたるはラムから、ラム星が地球を侵略しなければ崩壊してしまう事を聞き出す。前回はさほど重大で無く回避できた危機が人々の予想以上のスピードで進行していたのだ。しかしラムはそれ以上の事は何も知らない。

あたる、面堂、メガネ達はラム星に密入し真実を突き止めて侵略の手から地球を守り、ラム星を崩壊から助けようとする。しかし侵略の手はすぐそこまで伸びている。議論の上、負けたら地球を差し出すと言う条件を付けて真剣勝負のラムとの鬼ごっこを提言する。つまり鬼ごっこと引きかえに十日間の時間を得ようと言うのだ。

かくしてラムとあたるの鬼ごっこが開始された。一方面堂、メガネ達は弁天達の援助を受けてラム星に進入。果して十日でラム星を救うことが出来るか。ラム星を救ってもあたるが負けたのでは話にならない。あたるはラムに勝つことが出来るのか?

『うる星やつら ハイテンション ラバーズ』

千葉県千葉市・薄井武人

回転しながら宇宙空間を漂うラムのUFO下方から青い地球が登ってくる。

「156年式のスピン＝タイガーか。いいカモがいそうだね…」

閃光と共に光を吹き、墜落してゆくUFO。

＊　＊　＊

鬼族ハンターの（もちろん、美少女の）ステラが地球にやって来た。元々、正義感が強く喧嘩っ早い鬼族には敵が多く、中でも『銀河成金同盟』は女・子供を問わず鬼族を殺した者には賞金を出していた。そして鬼族専門の殺し屋が、銀河系に五十人はいるという鬼族ハンターである。

実は、ステラ自身鬼族であり、ラムと同等の飛行能力と電撃能力を持っているのだが、幼い頃、正反対の電荷を備えているのだ。電撃攻撃の中和、相殺されて、絶体絶命のラム。赤鬼族（そんな感じがする）のランと共に、じりじりと追いつめられていく。

だが、そんな冷酷なステラに対しても、ひたすら優しい男がいた。その名は諸星あたる！ステラはあたるに惚れこんでしまい、これを人生の転機にと一念発起する。そしてラムや弁天様と合流して『銀河同盟』へと殴り込みをかけ、盟主・ミスター＝アイオッチと対決する！

＊　＊

「……ラム、あんないい男、何処を探したっていないぜ。…
…手離すんじゃねーぞ！」

「ステラ、お前…本当にダーリンが好きだったっちゃね…」

佳作3点発表

パート5アイデア

大阪府大阪市・森　智江

あたるはラムの落とした時間移動装置を使って、一年程前に現れた。その日は、あの星間タクシーの来た日だ。そこであたるは、自分自身を誘拐した。中心の欠けた4人組は結局、UFOが呼べなかった。満足したあたるは、未来へ帰るが、その時少し破損してしまった。

その日、あたるはしのぶとデートした。4人組にも彼女がいた。面堂はサクラにぞっこんだ。

ラムは二度とこなかったのだ。
　2〜3日して、やっと事の重大さに気付いたあたるは、またあの装置を手にした。が、壊れた装置は、あたるを平行世界(パラレルワールド)へと導いた。色々な世界の中で、あたるはラムを捜している世界に出会った。何かの拍子に、二つの世界が交差したようだ。
　過去を元に戻す為、その世界の面堂達や弁天達も、協力し始めた。が、苦労してたどり着いた過去だが、誰も過去に触れられなかった。何かが邪魔しているのだ。そこに現れたのは……ラム!?だが、〝彼女〟は〝時〟と名のった。あたるが起こした時流の混乱が〝時〟の表情の中の怒りを出してしまったのだ。
　〝時〟はラムと同化していた。あたるに切りかかるラム。弁天が止めようとするが、はねとばされてしまった。が、あたるは無抵抗だ。必殺真剣白刃どりもでない。ついに剣があたるを切りつけた。「いやあっっ〜！」ラムは再び振り上げた剣を、自分に向けた。「ラーム？」放心状態のあたる。くずれおちるラム。ふと〝時〟に新しい表情が生まれた。それは、ラムの心の愛…。ラムと時は分離した。
　〝時〟はラムの手に何かを握らせると、ゆっくりと消えていった。その〝何〟かはキラリと光り、そのまま全てを包みこんだ。反射的にあたるはラムを抱きしめた。
…気付くとそこはいつもの高校だ。横にはラムが無邪気に眠っている。ラムやあたるの傷も、あとかたもない。下は日常的パニックだ。…夢……!? その時、ラムの掌から、小さな時計が滑り落ち、キラリと光った…。

FIN

パート5アイデア

山口県徳山市・角谷　信

　春の友引芸術祭。2年4組は劇を出品。美しき姫君(ラム)と彼女に恋する貴族(めんどう)。だが姫はある青年(あたる)を愛していた。また、姫の待従(しのぶ)は貴族(めんどう)に恋しているという四角関係。姫は青年に化けた魔物(オンセン)にさらわれるが、ラストで姫と青年、貴族と待従が結ばれハッピーエンド。魔物の手先で親父(竜之介の父)も出演。しのぶ「姫がやりたかったのに」とぶつくさ。また練習中、ラブシーンで、面堂に本当にキスを迫る。面堂、閉口。
　あたる達、サクラに出演を依頼。断られるが、ラム、しのぶ、竜之介、サクラを呼び止める。話があると言うのだ。その後、3人の様子、ヘン。ラムはウキウキ。しのぶは面堂を妙に意識。竜之介は居眠りしては親父に勝つ夢を見ている。
　翌日から、ラム練習に来なくなる。しのぶも練習を早く切り上げて帰って行く。竜ノ介は、親父に負けてフラフラ。親父が分身の術を使うというのだ！
　芸術祭二日前。ラムは学校に姿を見せない。あたる達、しのぶがデートしているという噂を耳にする。練習後しのぶを尾行するが見失う。
　芸術祭前日、再び尾行するあたる、面堂。あたるはラムも心配。UFOに戻ってないとテンが言うのだ。一度見失った後、しのぶは公園の木立の中に。あわやキスという時、割って入る面堂。しのぶの目に二人の面堂。キスしようとしている面堂、風と共に空に舞い、消える。そこへサクラが現れる。サクラもしのぶを見張っていたのだ。この時期の陽気を含んだ風が、時として感受性の強い少女に幻を見せるという。だから注意したのにとサクラ。幻の虜となり現世の物が見えなくなる者もあるという。「まさか」とあたる。
　当日、やつれたあたる。ふと見上げるとラムの幻。いや、本物のラムだ。「心配したっちゃ？」実は自動記憶マシンを使ってセリフを憶えていたという。テンに嘘をつかせたのは、あたるに心配させるため。幻など全然見なかったというラムにあたる安心。「姫をやりたかった」としのぶ。「でも…今はこの役を演じ切るしかないわね！」開演。

うる星5原案

佐賀県佐賀市・伊達木　剛

　ラムの簡易タイムマシンをあたるが壊してしまった。予備のマシン（カプセル）は1個しかない。ラムとあたるは修理用の半導体の代用品を10年後の友引町へ買いに行く。
　ふとした事から二人は、未来の『あたるの娘』に出会ってしまう。驚いたラムは、その子といっしょにその母親を（幼稚園で）待っている。門の向こうから歩いてくる母親は10年後のしのぶだ。あまりの事にラムの心は悲しみ・憎しみ・そして（鬼本来の？）怒りでいっぱいだ。木の影にかくれて、しかしもう茫然として動けない。しのぶと娘は深い愛情で結ばれている。それは誰の目で見ても、（ましてラムには）はっきりとわかる。「緑色の髪のお姉ちゃんと遊んでいたの」という娘の言葉で『母親』しのぶは木の影の10年前のラムに気づく。
「ラムさん！待って！お話があるの！」しのぶの叫びを振り切ってラムは飛び去っていく。
　一方、あたるは(ツバメ夫人)サクラの話から、実はしのぶは再婚の相手であると知らされる。そしてあの子は『ラムとの子』であることも…。この世界のラムは娘が宇宙の伝染病にかかった時、高速ワープでワクチンを取りに行く途中で事故にあい、生死不明になって5年になる。この世界のラムはもういない。
　未来の地球から現在へ戻る途中、二人は言葉をかわせない。ラムは自分が母親でなかった悲しみから。あたるはラムが5年後には死んでしまう運命である事を、本人には知らせたくない一心から…。二人の間のさみしい思いやりである。
　現在に帰った二人は、2個のタイムマシンカプセルを見る。急にラムは顔色を変えて言う。「どっちが壊れているか、わからなくなったっちゃ！」もしかすると、壊れた方のカプセルで歪んだ未来へ行ってきたのかもしれないのだ。テスターで調べようとするラムの手をあたるが止める。今は知らない方がいいのだ。全ては時間だけが知っている。

——・——・——

　今回の応募作は全て5(ファイブ)の脚本家には読んでもらいますので、断片的なアイデアは、本当に採用されるかも知れないので、お楽しみに。
　それにしても製作者や原作者を唸らせる様な、凄いアイデアって出ないかな…。これからも「これは」って言うのがあったら続けて送って下さい。おもしろいのがあったら掲載しますので…。

決定！キャラボード。

11人いる！



これはタダとフロルの青春物なんだ！

出崎・冨永両監督にインタビュー

スタッフ決定!!

原作／構成　萩尾望都（小学館・萩尾望都作品集より）
製作　多賀英典
企画　落合茂一
プロデューサー　古徳　稔
脚本　今泉俊昭／小出一巳
監督　出崎　哲／冨永恒雄
作監　清水恵蔵
美監　東　潤一
音響監督　斯波重治
キャラ　杉野昭夫／清水恵蔵
製作　キティフィルム
キティ・エンタープライズ
日本ビクター提携作品

『11人いる！』は、昭和五十年に発表された萩尾望都の代表作の一つ。当時女流漫画家が本格SFをモチーフとすることは珍しく、その意味で非常にエポック・メイキングな作品といえる。漫画界のみならず、SF界での評価も高く、傑作の呼び声が高い。

原作単行本（文庫本も含む）は百万部を突破し、翌年には続編『東の地平　西の永遠』も発表されている。

（某NHKの少年ドラマにもなったのだが、ファンの間では禁句になっているらしい）

11人目は果して誰なのか?!

あらすじ

惑星国家が星間連盟を結んだ遥か未来——新しい宇宙時代を担う人材を育成する宇宙最高峰の大学〝コスモ・アカデミー〟では、三年に一度の入学試験が行われ、様々な星系から受験生が集まっていた。テラ（地球）系の片隅の惑星シベリースから来たタダトス・レーン（タダ）は、宇宙パイロットになる夢を胸に、幾つかの難関を突破して最終試験に臨むが、そこで行われるテストとは、選ばれた受験生と一緒に、ある惑星の軌道を回る漂流船で、五十三日間の共同生活を無事に過ごしきるというものだった。

タダのグループの受験生は、宇宙工学コースをめざすアマゾン、母星の風土病を克服するための生命医学コースを志望するガンガ、力だめしのために受験にきたサバ系の小惑星の王バセスカ（王さま）、同じくサバ系の貴族の御曹司・四世（フォース）、植物に興味をもつトトら…。ところが、彼らが乗り込んだ漂流船「エスペランサ号」では奇妙な出来事が待っていた。一グループの人数は10人に定められていたはずだったが、集まった受験生は11人いたのである。一人多い！いったい誰が？何のために……？タダが潜在的にもつ直感能力でさえも、誰が11人目かをみつけることはできなかった。

しかも、船内コンピューターの修理中の事故でガンガが重傷を負う事件が起き、現場に居合わせたタダに皆の疑惑の目が向けられる。ひとり孤立するタダに、辺境の星から来た美少女のような容姿のフロルだけが温かい友情を示してくれるのであったが……。

互いの猜疑心と不安に満ちた漂流船の中で、合格までの時を待つ受験生たちに、さらに新たな事件と試練が待ち受けていた……。

出崎さんと冨永さんにアタック!!

『11人いる！』の遅れてしまった理由はK・Pでおわかりと思うが、じゃあ、今進んでいる『11人』はどんな様子なのか？と素朴な疑問を持っている方々、我が編集部が自信と責任を持って、監督の出崎さんと冨永さんにアタック！萩尾望都作品初の映画化は、女性ファンならずとも男性ファンも興味津々。今秋公開に向けて現場は熱気にあふれていた。

——・——・——

——勉強不足で申し訳ないんですが、冨永さんの代表的な作品を教えていただけますか。

冨永　『テラホークス』のO・P（オープニング）とか、今やってる『パステルユーミ』のO・P（オープニング）とかですね。O・P（オープニング）が多いんですけど。（笑）後は…『ガラスの仮面』とか、『レディ・ジョージィ』、テレビの『レンズマン』なんかですね。

——『11人いる！』でここに力を入れている、という部分は特にありますか。

冨永　原作は余りメカっぽくないんですけど、メカとか…。割と「光と影」の強調みたいなものを入れたいなと思っています。

出崎　冨永クンの「光と影」、あれは一つの見どころですね。あとは……この映画は、一人一人のキャラがどんな芝居をやってるか、というのがアニメにしては珍しく描かれているんじゃないかな。閉鎖空間のドラマっていうの。そういう映画ってあるでしょ、『12人の怒れる男』とか。…あれほど立派なものになるかは分からないけど（笑）



この作品は、フロルがかわいく描けるか描けないかで決まるところがあるんです。
監督・出崎　哲

11人いる！を裸にする!!



光と影が表現できれば…と思っています。
監督・冨永恒雄

あとは『ナイル殺人事件』みたいの。あれはどういう作り方してるかっていうと、ストーリーはみんな知ってるものを映画にしてね、役者をこってるわけ。「役者がどんな演技をしてそういう役にあてはまっていったか」っていうのが、ちゃんと見れる様にできてる映画なのね。だから『ナイル殺人事件』は意識しています。あっちはちゃんとしたミステリーなんだけど、こっちの方はミステリーの重さをちょっと軽くして、もっと「青春物」にふる。そして意識としては『ナイル殺人事件』みたいに「一人一人がどれくらい演れるか」っていう事ですね。もっともキャラはある程度しぼり込んで、タダとフロルを中心としています。

——原作でも11人のうち半分ぐらいしか動いていないような気がするんですが…。

冨永　やっぱりそれぐらいになっちゃうと思うんですけど、やってみるとみんな結構個性的なんですよね。

——キャラクターについて注意した部分とかはありますか。

冨永　意外だったのは、割とトトなんかが目立つんですよ。タダとフロルについては、原作のイメージでやってますけど、若干フロルがコミカルになりつつあるかなといったところです。

——フロルは中性ということで描くのに苦労なさっているんじゃないですか。

冨永　（笑いながら）そういわれるとそうなんですけどねえ。

出崎　〝中性〟と考えると難しいから、女の子でありながら男の子になりたいと思っているという風に解釈してやっていますね。この作品はフロルがかわいく描けるか描けないかで決まるところがあるんですよね。彼(冨永さん)は、言葉になんなかったけどね、言いたいのはそういうところなのね。

——原作はどのくらい尊重されるのですか。

出崎　そうですねえ。原作で大事にしているイメージをどうすればフィルムでも伝えられるかという意味で、原作をいじってはいます。

——それは原作が言いたかったことをより一層アピールしたということですか。

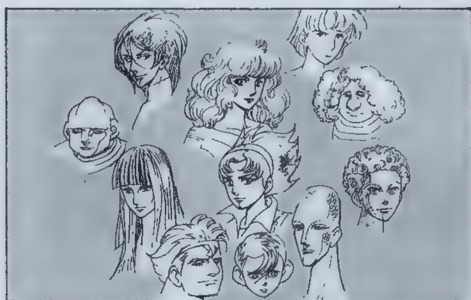
出崎　ええ。これは萩尾さんとお話したことなんですが、いろいろな原作の受けとめ方があるでしょうけど、ボク達は『これは青春物なんだ』と考えて、つくっているわけです。

——それでは原作のもつ「11人目は誰だ?」というミステリー的な要素は少なくなっているのですか。

出崎　いや、そうじゃなくて、ミステリアスな表現も高まっていくかもしれない。けどそれだけを描きたいんじゃないんだぞっていうわけね。青春物としての感じを生かすためにミステリアスな手法も入るということ。

——原作のエピソードで削ったりしたところはありますか。

出崎　うーん。原作にない部分を強調したり、逆にエピソードを削ったりしたところはありますね。ただそれも原作のもつイメージを伝えたいがためにやったということで、脚色するという意味においてはあたりまえのことですね。大げさにやったということじゃないです。こっちの方は原作を借りて思っていることをやろうっていう気は全然ないんでね。



——萩尾さんはどれくらいタッチされているんですか。

出崎　絵コンテは見せています。萩尾さんというのは非常に頭のいい方で、言ってることに関してまちがってるということはひとつもないですね。

もっとも、萩尾さん自身もね、『11人いる!』から11年ぐらいたってるでしょ。わりと客観的な立場に立ってるんですよね。第三者というか、自分の作品から離れちゃって…。それで今の立場からの要望を述べちゃうんですよ。

——そうすると11年前の『11人』から今の萩尾さん風の『11人』に変わっちゃうんじゃないですか。

出崎　僕も最初はそれが狙いだったんですよ。だけど、実際それはファンを裏切る事につながっちゃうと思うんですよね。（あまりやると）あの当時の原作を読んだ時の感動っていうのから離れちゃうと思うんです。

——さきほど青春物とおっしゃいましたが、それは具体的にはどういったことですか。

出崎　ファンの人達もいろいろあるだろうけど、言ってしまえばかわいいフロルと、大人になりかかっているタダの青春のいちばんいいひとコマがそこに描かれているっていうことなんだよね。タダとフロルという個性が演じた青春なんだっていうことで。フロルが最後に言うでしょう。「おまえがそういうなら女になってもいいや」って。あのひと言泣かせると思うんだなあ。すごくかわいいしね。ラストシーンから逆算してみんな割り出したんだよね。その方が自分も乗れるし。

——では最後に楽しみにしているファンの方にメッセージを。

出崎　今回のはストーリー中心で見てほしいと。その結果としてタダとかフロルに感情移入してもらえればうれしいですね。

大アンケート実施!!（抽選で素適な賞品が当たるゾ！）

K・A・Cでは、会員の実態の把握と、企画へのフィードバックの為、会員の皆さんにアンケートへの協力をお願いしたいと思います。

設問をよく読んで、同封の回答用ハガキにてお寄せ下さい。(他は無効)

回答を寄せて頂いた方の中から抽選で末記の商品を差し上げます。希望する賞品番号をハガキの所定欄に忘れずに記入して下さい。

—・—・—・—

(1) K・A・Cへのご意見をお書き下さい。(ムーヴメントやK・Pの感想、誌面で取り上げて欲しい企画、こんなことをやって欲しい…etc、何でも)

(2) K・A・C通販を何回利用しましたか？　(回答は回数で。利用したことのない人は0。まだ利用していないが、今後利用したい人はxとして下さい。『うる星FC』当時の利用回数も含めて下さい。)

(3) 週に何本ぐらいアニメを見ますか？

(4) あなたが一番好きなアニメは何ですか？　(1本だけ。過去の作品も含む)

(5) ごひいきのアニメーターを一人挙げて下さい。

(6) 月に何本ぐらい映画を見ますか？　(劇場で)

(7) アニメ以外で好きな映画、TV番組を一つ挙げて下さい。

(8) あなたが好きなタレントを一人挙げて下さい。

(9) 月に何冊ぐらい本を読みますか？　(雑誌除く)

(10) 月に何冊ぐらい雑誌を読みますか？　(特に毎号読んでいる誌名を挙げて下さい)

(11) あなたのアニメ以外の趣味は何ですか？

(12) 現在一番好きな作家は？
(1)小説家　(2)漫画家　(3)その他

(13) 現在一番好きな作品は？
(1)小説　(2)コミック　(3)その他

(14) 特にアニメ化を希望する作品がありましたらお書き下さい。

(15) 次のうちプレーヤーを所有しているものに○をつけて下さい。(所有ソフト数も)

(16) あなたがお持ちのビデオ・デッキの種類は？　(所有市販ソフトの数も)

(17) 同じくビデオ・ディスク・プレーヤーの種類と、所有ソフトの枚数は？

(18) 同じくコンピューターの種類と、所有市販ソフトの数は？　(パソコンとファミコンは分けて)

※(15)～(18)で、近々購入予定のものがありましたら△を、また複数所有の場合は台数分の○を(二台なら二重丸)付けて下さい。

(19) レンタル・ビデオを利用したことがありますか？　次の中から選んで下さい。
a 週1～2回　b 月1～2回
c たまに　d しない

(20) 趣味等に、あなたが自由に仕える金額の一ヶ月あたり平均はいくらぐらいですか？

(21) 現在K・A・Cでは、通販用販促物(要するにオマケ)として、セル画などをつけていますが、何か他にこんなものが欲しい、と言うものはありませんか？

(22) 一週間の行動パターンを、表に記入して下さい。あまり細かく書く必要はありません。特にTV(ビデオ)を見られる時間帯をハッキリ記入して下さい。

—・—・—・—

●締切り●
7月17日当日消印有効

▼賞品▲
①コンパクト・ディスク…1名
②めぞんヨットパーカー…2名
③うる星絵コンテ1話分…3名
④11人いる！シナリオ……7名
⑤扉を開けてシナリオ……7名
⑥うる星TVシナリオ……10名
⑦うる星セル画………10名
⑧めぞんセル画………10名
⑨マイケルセル画………10名
⑩軽シンセル画………10名
⑪うる星LPいろいろ……20名
⑫うる星パート1シナリオ50名
〈残念賞もある……50名〉

●以上の中から好きなものを選び番号をハガキの表に書いてネ！

●記入例●

〈表〉

郵便はがき
40円切手をおはり下さい
151-00
東京都渋谷区代々木一―八―五
キティ・アニメーション・サークル
アンケート係 行
希望商品ナンバー 4
名前 フリガナ ヤマダ ハジメ 山田 一　会員番号 222222　年令 18
住所 足立区花畑1-10-13　性別 男

〈裏〉

③(6)本 ④(うる星やつら) ⑤(もりやまゆうじ)
⑥(2)本 ⑦(…) ⑧(…)
⑨(3)冊
⑩(9)冊 10.スポーツ・ビデオ撮影
⑪ サンデー・マガジン・ジャンプ
⑫ (1)高千穂遙 (2)高橋留美子 (3)宮崎駿
⑬ (1)ドラゴン・カンフー (2)めぞん一刻 (3)…
⑭ 銀人日記(山本鈴美香)
⑮レコード(LP 12枚)(EP 36枚)/カセット(50本)/CD(　本)
⑯(…)/8/8mm/(22)本 ⑰LD/VHD(　枚)
⑱ファミコン(4本)/コンピューター(機種　/　本)
⑲(b) ⑳(2万円) ㉑(キーホルダー)
㉒
特にTVを見られる時間帯は(　:　~　:　)

シンフォニー

うる星やつら～回想～の編曲者・安西さんに聞く。



どーだい、もうみんな聴いたかナ？ファン大会でもおなじみのあの『回想』。6月末にはビデオ発売が決定され、ファンとしては気になるところ。音楽は『うる星』を最初から携わっていた安西さんが、選曲、編曲、演奏と八面六臂の大活躍。まずは、『回想』をつくるにあたって、何か言われてたことは。

ほとんど自由でしたね。最初新世界みたいにやってくれって、ドボルザークの。ところで新世界の何楽章かって言ったらハハハ…みたいになってそうこう言ってるうちに、ラプソディ・イン・ブルーみたいにやってくれって、ガーシュインの。で僕は、パリのアメリカ人みたいなアレンジの方がおもしろいなって思ってたんだけど。そのうちなんだか別にどうでもいいんだよみたいになったんで、それじゃ、ストラビンスキーの火の鳥みたいのは？って言ったらそれも良いねって。じゃ「何も考えてないんでしょう」って言ったら、実は…（笑）という話になって。

ということは、安西さんは二十世紀の現代クラシックあたりを狙っていたのですか。

うん、まぁクラシックぽいのをとって。それでベートーベンみたいな厳格な形の物にするかそれとも別の形の物にするかって事だけ決めましたけど。どちらかっていうとバレエ音楽みたいな、わりと近代に近いバレエ音楽みたいな形の組曲で。曲が完全につながっちゃってると絵の方も厳しいだろうと思って6パートに分けました。それと一曲一曲をなるべく違うようにしました。

安西さんは、まだこの時点では、完成品を見ていないとのこと。音に合わせて絵が入るという、これまでのパターンと違うので、出来上りを非常に楽しみにしているらしい。さらに一曲づつについてのイメージについても伺ってみた。

うーん、それぞれ、できるだけ違うようにしないと絵の方が厳しいだろうということで…。

●I・「ラムのラブソング」

わりとディズニーとか昔のマンガ映画の雰囲気を出そうかなと。でも出だしは違いますけどね。出だしはわざとああゆう風にしたんですけど。宇宙から始まるみたいに言われたので、一分間つけとこうと思って。

●II・「ラムのバラード」

映画音楽っぽい感じの曲だから、まあこんなもんでしょ。映像も思い出的で良かったですねえ。

●III・「愛はブーメラン」

本来なら松谷さんの方を使うんだろうけど、たまたま先に平野さんの方を聞いちゃっただけなんですけどね。ほら、最初に聞いた方が印象強いからね。

●IV・「I・I・You＆愛」

真中に未知との遭遇が入ってますが、あれをわざと入れたのはO・Y（オンリー・ユー）の時、この曲がドラソラドラドってメロディーで構成されているので、ミミちゃんが未知との遭遇みたいにしようって言い出したわけ。それ風のアレンジでということで、つくったけど、UFOが出てくるシーンでダカダカタってやってる割には絵とぜんぜん合ってなかった。（笑）コンテの段階で音を合わせたんですが切られちゃったんでタイミングが狂っちゃった。（笑）じゃあ雪辱戦で全部入れてやろーてんでそれで今回やったんですよね。

●V・「BGM」

BGMにするかテーマソングのメロディーにするか悩んでたんだけど、まあBGMの方で僕の書いた曲メインでやれれば、いたずらしても誰も怒らないだろうって。出だしはボストン・ポップスってオーケストラのポピュラーっぽいクラシックみたいにしたんだ。

●VI・「ふしぎ・きれい」

これは一回こういう風にやってみたかったんですよ。何もおこらないようなのを。本当はメロディーが生ピアノで和音もなにも無し。一音だけで伴奏はエレクトリックピアノだけにしようとおもってたんだけど、それは許されなかった。（笑）エリック・サティみたいにしちゃおうって。だから何もおこらないでしょう。使ってるコードも2コードぐらいでやってるんですよ。

全体的にはシンフォニーと言うよりデジタルっぽい仕上りになってるがあえてそうしたわけでも…

ほら、ジャムトリップってひどいのがおおいでしょう。だから少しちゃんとしたのを作ろうと思ってまじめに作ったという…。

うる星に関してはシンセサイザーの方があうと思いますけどね。音にもよりますが。最初の頃のシンセ半分、生楽器半分のバランスって、けっこう良かったと思いますよ。やっぱシンセだけだと厳しいと思うし…ただ両方かけもつのはちょっとしんどいね。

今までに一〇〇曲近く作・編曲してきた安西さんなのですが、なんでも始めの頃は番組がはじまると、ミミちゃんとどっちの曲が多くつかわれるかと緊張して見ていたそうです。そんな安西さんでもO・Y（オンリー・ユー）の画期的な牛丼のテーマ（？）には散々悩んだあげく思いつきで作ったとか。この回想も三週間弱で作ったそうです。本人いわく、せっぱつまんないとやらないんですよ。

〈安西さんのネットワーク情報〉

安西さんや他の音楽関係者の間で使われている情報通信ネットワークに参加できます。（電話とコンピュータによるもの）

〔内容〕

音楽情報と、楽器の音色情報。

〔規格〕

BELLで、300BAUDのBELL、または1200BAUDのCCITTかBELL。N81X

〔電話番号〕

03・705・4048

〔諸注意〕

これは専用の機械を電話につながないと参加できません。普通にかけても「ピー」という信号音がきこえるだけです。七月中旬ぐらいまでは無料だそうです。ネットワーク名は「SYNTH・NET（シンセ）」。

ビデオ版〜回想〜より

PROGRAM: IV

「I·I·You＆愛」をベースに、未知のエイリアンとの争いと和解を描く『うる星』版『未知との遭遇』です。





PROGRAM: V

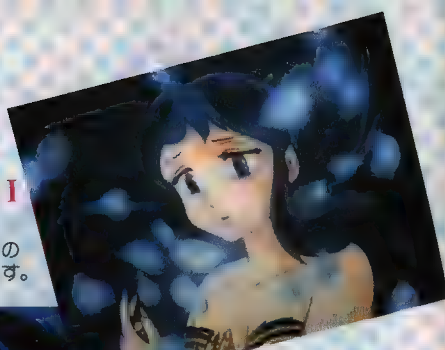
本編中の暴走シーン等で使われたBGMのアレンジによる「パニック·コンツェルト」です。ワル乗りをお楽しみ下さい。▼

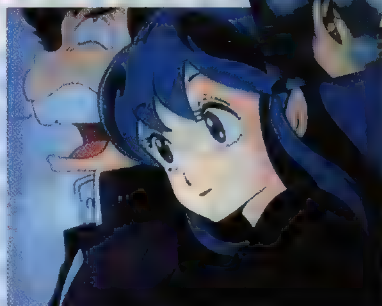
「了子ちゃん!」

「今宵仮面ぶどう会を行います」

PROGRAM: I

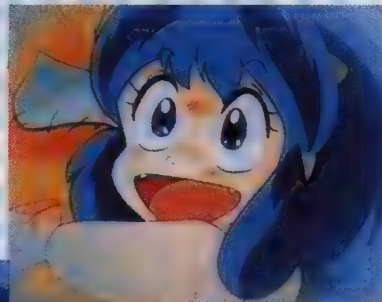
「ラムのラブソング」をベースにラムとあたるの平和な日常が描かれます。

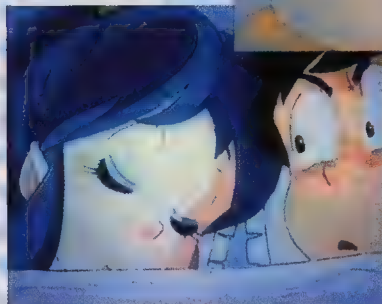




PROGRAM: II

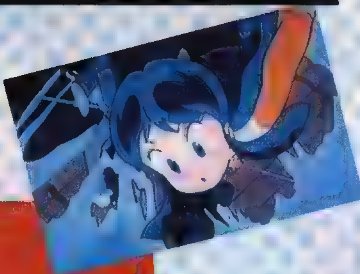
「ラムのバラード」をアレンジして、ラムの夢を覗いてみました。





PROGRAM: VI

ふしぎ·きれい」のアレンジなのですが、環境音楽の様な一風変わった「うる星」世界です。











PROGRAM: III

名曲「愛はブーメラン」のバリエーションで、別れをテーマにした一篇です。

楽書きボード

編集部が独断と偏見で選んだ今号のすぐれ作品です。

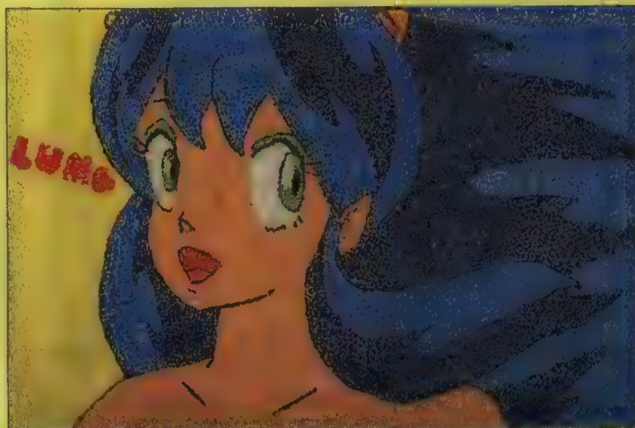
CHOICE・3



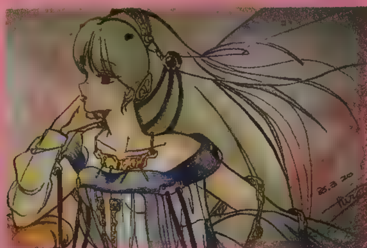
●川崎市・守家幸子109504
女の子らしい淡い色使いがきれいです。
初夏の日射しの中のようでさわやかです。



●名古屋市・木全伸二 171033
色の組み合わせ、構図、ぼかしなど、工夫作品ナンバー1!
幻想的でやさしい感じがします。



●天竜市・足立美紀 130336
折り紙・釘・ノリの作品。全く努力のたまものです、ハイ。
細部までていねいに作られています。



●名古屋市・清水弘貴121152
コスチュームが綺麗。雰囲気のある作品



●川崎市・秋野友絵319384
ラムの表情に一抹の寂しさがあるのはナゼ



●豊田市・花井麗子146902
こんなカワイイお姉さんが欲しい!



●苫田郡・須藤由加113258
デザイン処理がよかった。叙情的小品。



●杉並区・松里和明206698
一万五千円なら私も買いに行きます。



●三豊郡・奥下尚子ー94928
アイスは今や女の子の必需品だよ。



●横浜市・小野祐子ー69508
肉感的なラムちゃん。不思議な色合いだ。



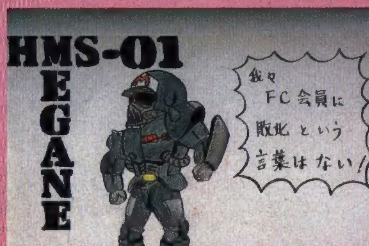
●名古屋市・今枝鉄也ー16855
うわっびっくりしたッ!迫力負け。採用!!



●豊中市・市原由寛ー24537
ほんとッ。早く出てほしい!



●豊田郡・山根真子128124
キャッワイイ!しかし右手の先がねー。



●北高来郡・蕪尾祐二183129
メガネよ今どこに!必ずや希望の光はある。



●横浜市・井上まり子160432
四谷さん。朱美さん。ベストカップル!



●駒ヶ根市・清水孝徳ー07508
うしろの花ビラが見えないよーだっ。



●横浜市・仲川浩二ー321398
タレ目の響子さんも色っぽくていいなあ。



●千葉市・松田晃男ー07201
大人っ!チョッピリ暗いムードがおしい。



●習志野市・佐藤房枝ー90736
青と黄の配色、構図といい、抜群!!



●姫路市・小川憲一郎ー02913
ルーのバーテンダーで一杯。イキだねぇー。



●杉並区・水野彩子ー43636
大胆なバックは見るものを圧倒するね。

●イラスト選評

全体的に見て、「せっかくカラーなんだからもっと色づけにこった方がいいのにな」という作品が何点かみられました。すごいカラフルなものや渋めの色づかい、色鉛筆・水彩・切り絵など画材や素材にこってみるのもひとつの手だと思います。

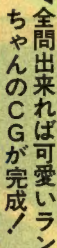
それから、原作やアニメにあったシーンを忠実にうつすんじゃなくて、「自分のオリジナルの画面」で勝負してほしいな。気持ちはわかるけど。別にうまく描こうと思わなくても、アイディアがよければそれはいい作品ですよ。

いろいろ厳しい事を書いたけど、「楽書きボード」は季刊誌に毎号掲載するので、頑張って応募して下さいね♡

そうそう、ハガキには名前・住所・会員番号の他に年齢も忘れずに書いて下さい。よろしく。

さあ、キミも挑戦！この難問を、いくつ解けるか

コンピューターをもっていないキミでも、マニアを自認するならぜひトライしてみよう。その難しさがとくとわかるハズ。下のような問題が１ブロック40問で全部でナント！30ブロック1,200問あるんだぜ。ちょっとやそっとじゃ解けないのもムリないよね。この程度でてこずるようじゃ……ペケ！

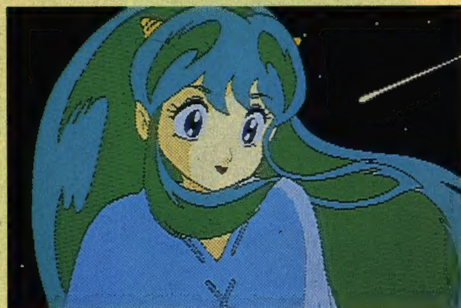


◀全問出来れば可愛いランちゃんのCGが完成！

これはキャラ当てクイズ▼

｢ｻｲｷﾝﾉ ﾁﾝﾄﾞﾝﾔﾊ ｵｰﾙﾅｲﾄｱﾘｶ?｣ ｻﾃ ﾀﾞﾚﾉｾﾘﾌ
ﾖｳｶｲ ｱﾒﾌﾗｼﾉ ﾉﾛｲｦ ｶｹﾗﾚﾀ ﾋﾞｼｮｳｼﾞｮﾉ ﾅﾏｴﾊ
O･Yﾃﾞﾊ ｷｺｳｼﾀﾞﾝｦ ﾋｷｲﾃ ｶﾞｯｺｳﾆ ﾉﾘｺﾝﾃﾞｷﾏｼﾀ
ﾎﾟﾁ2ｺﾞｳｶﾞ ｽｷﾆﾅｯﾀ ﾌｸﾞﾉﾅﾊ
B･Dﾖﾘ ｢ﾎﾞｸ ｼｯﾃﾙﾓｰﾝ!｣ ｻﾃ ﾀﾞﾚﾉｾﾘﾌ
B･Dﾖﾘ ｢ｱﾗﾔﾀﾞ ｵﾊﾞｻﾏｯﾀﾗｰ｣ ｻﾃ ﾀﾞﾚﾉｾﾘﾌ
B･Dﾖﾘ ｢ｶ ｶﾝｼﾞｮｳｾﾝﾀﾞｯｹ･･･?｣ ｻﾃ ﾀﾞﾚﾉｾﾘﾌ
B･Dﾖﾘ ｢ﾀﾞｶﾗ ｲﾏﾄｯﾃﾓ ｼｱﾜｾﾀﾞｯﾁｬ ﾍﾞｰ!｣ ｻﾃ ｢ﾍﾞｰ｣ｻﾚﾀﾉﾊ
ｴﾙﾄｱﾀﾙﾉ ｹｯｺﾝｼｷﾉ ﾅｺｳﾄﾞﾊ
ｸﾛｺｦ ｼﾀｶﾞｴﾀ ﾋｼﾞｮｳｼｷ(?)GAL
ﾌﾞﾘｯｺﾃﾞｽ ﾊﾏﾁｯｺﾄﾓ ｲｲﾏｽｶﾞ･･･
ｻﾑｸﾅﾙﾄ ﾈﾑｸﾅﾙ･･･
ｸﾘｽﾏｽﾂﾘｰｦ ﾊｯｼｬｼﾃｼﾏｳﾉﾊ ｵｿﾗｸ ｺﾉﾋﾄｸﾞﾗｲﾉ ﾓﾉﾃﾞｼｮｳ･･･
ﾏｽｸ ﾃﾞ ﾍﾝｿｳ(?)ｼﾃｲﾀ ｸﾉｲﾁﾊ
ﾌﾟﾛﾉ ｻｰﾌｧｰﾀﾞｯﾀ ﾘｭｳﾉｽｹﾉﾊﾊ(?)ﾉ ﾅﾏｴﾊ
ｹﾞﾝｻｸﾖﾘ ﾂｳｼｮｳ ｢ﾛﾘｰﾀﾉ｣ ﾅﾆ
ﾊｯｷﾘｲｯﾃ ﾀﾞﾁｮｳﾃﾞｽ
ｱﾀﾙﾄ ﾃﾞｰﾄｽﾙｺﾄｶﾞ ｺﾉﾖﾉ ﾐﾚﾝﾃﾞｼﾀ
ﾊﾊｵﾔﾊ ﾋｹｼ
ﾄﾓﾋﾞｷｺｳｺｳ ｼﾞｮｼ ﾊﾞﾚｰﾌﾞ ｷｬﾌﾟﾃﾝ
ｵﾝﾄﾞｶﾞ ｱｶﾞﾙﾄ ｷｮﾀﾞｲｶｽﾙ ﾀｺ
ｶﾀﾒﾉ ｸﾉｲﾁ
ｶﾂﾃﾊ ｢ﾌﾟｰﾙﾖｳｶｲ｣ﾅﾄﾞﾄ ﾖﾊﾞﾚﾃｲﾏｼﾀ
TVｼﾘｰｽﾞﾉ 2ﾈﾝ4ｸﾐ ﾋﾞｼﾞﾝｺﾝﾃｽﾄﾃﾞ ｺｳﾎﾊ ﾗﾑ ｼﾉﾌﾞ ｷｮｳｺﾄ ｱﾄﾋﾄﾘﾊ
ｺﾀﾂｱｲｺｳｶ ﾀﾞｲ1ﾆﾝｼｬ
ﾓﾛﾎﾞｼｱﾀﾙ + ｶﾈ + ｹﾝﾘｮｸ =
ｻｸﾗｻﾝﾉ ﾌｨｱﾝｾﾉ ﾊｽﾞﾃﾞｽｶﾞ･･･
ｱﾏｸﾞﾓﾄ ﾌｳﾌﾃﾞｽ
ﾃﾝｶﾞ ﾁﾁｵﾔﾄ ﾅｯﾀ ｶｶﾞﾐﾊﾞﾁﾉ ﾅﾏｴﾊ
TVｼﾘｰｽﾞﾉ ﾔﾐﾅﾍﾞﾃﾞｨｽｺﾀｲｶｲﾃﾞ ﾒｶﾞﾈﾄ ﾍﾟｱﾆ ﾅｯﾀﾉﾊ
｢ｻﾀﾞﾒｼﾞｬ------------------------- -------------------ｯｯｯ!!｣
｢ﾄｸｷﾞﾊ ｱﾅﾎﾘﾃﾞ ｱﾙ｣
ﾄﾝﾁｬﾝﾉ ｲﾓｳﾄﾃﾞｽ
TVｼﾘｰｽﾞﾃﾞ ｻﾝｸﾞﾗｽﾆ ﾚｰｻﾞｰﾊｯｼﾝｷｦ ｿｳﾋﾞｼﾃｲﾀﾉﾊ
TVｼﾘｰｽﾞﾃﾞ ﾃﾞﾝｼｶｿｸｿｳﾁｦ ｿｳﾋﾞｼﾃｲﾀﾉﾊ
TVｼﾘｰｽﾞﾃﾞ ｽｶｰﾄﾉﾅｶﾆ ﾐｻｲﾙｦ ｿｳﾋﾞｼﾃｲﾀﾉﾊ
｢ｿｼﾃ ﾀﾞﾚﾓ ｲﾅｸﾅｯﾀｯﾁｬ｣ﾉﾅｶﾃﾞ ﾀﾞｲ6ﾊﾞﾝﾒﾉ ｷﾞｾｲｼｬﾊ
ﾃﾞｼｶﾗ ﾑﾉｳﾖﾊﾞﾜﾘｻﾚﾀ ｼｼｮｳﾊ
ｼｭｳﾀﾛｳｦ ｢ｸﾗｲﾖｰｯ ｾﾏｲﾖｰｯ ｺﾜｲﾖｰｯ｣ﾆ ｼﾀ ﾆｸﾑﾍﾞｷ ﾁｮｳﾎﾝﾆﾝﾊ
ｹﾞﾝｻｸﾖﾘ ｢ﾒﾘｰﾊ ﾎｼﾆﾅｯﾀﾀﾞ!｣ ｻﾃ ﾒﾘｰﾉ ｶｲｽﾞｼﾊ

[ｼｭｴﾝ ｵﾝﾅ ｸﾗﾏﾋﾒ] ｻﾃ ｻﾝﾃﾞｰ ﾅﾝｺﾞｳ ｹｲｻｲ
[ｺﾄﾞﾓ ｼﾞｬｶﾗ ｱｿﾋﾞﾀｲ!!] ｻﾃ ｻﾝﾃﾞｰ ﾅﾝｺﾞｳ ｹｲｻｲ
[ﾅﾂﾔｽﾐ･･･ﾀﾞｶﾗ ﾅﾂﾏﾂﾘ!?] ｻﾃ ｻﾝﾃﾞｰ ﾅﾝｺﾞｳ ｹｲｻｲ
[ﾀﾞｯｼｭ ﾌﾞﾗｼﾞｬｱ ﾀﾞｲｻｸｾﾝ] ｻﾃ ｻﾝﾃﾞｰ ﾅﾝｺﾞｳ ｹｲｻｲ
ｱｲﾉ ﾔﾉ ﾒｲﾁｭｳﾘﾂ ｱﾀﾙﾊ ﾅﾝﾎﾞﾝ
ｱｲﾉ ﾔﾉ ﾒｲﾁｭｳﾘﾂ ﾒﾝﾄﾞｳﾊ ﾅﾝﾎﾞﾝ
｢ｷｮｳﾌﾉ ﾗｸﾀﾞｲ ｷｮｳｼﾂ｣ﾄﾊ ﾅﾝﾈﾝ4ｸﾐﾉｺﾄ
ｹﾞﾝｻｸﾃﾞ ｷｯｻ ｢ﾋﾟｸﾞﾓﾝ｣ﾉ ｴｲｷﾞｮｳｼﾞｶﾝﾊ ﾅﾝｼﾞｶﾝ
ﾃﾝ ﾗﾑ ﾗﾑﾉﾘｮｳｼﾝ ﾚｲ ｾﾞﾝﾌﾞﾃﾞ ﾂﾉﾊ ﾅﾝﾎﾞﾝ
ｹﾞﾝｻｸﾃﾞ ｱﾀﾙｲﾜｸ ｺｴｦｶｹﾀ ｵﾝﾅﾉｺﾆ ﾌﾗﾚﾙ ｶｸﾘﾂﾊ ﾅﾝﾊﾟｰｾﾝﾄ
R･M･Lﾆﾖﾙﾄ ﾗﾑｶﾞ ｳﾏﾚﾀﾉﾊ ｾｲﾚｷ ﾅﾝﾈﾝ
O･Yﾃﾞ ﾖﾁﾉﾔﾃﾞ ｷﾞｭｳﾄﾞﾝﾄ ｵｼﾝｺｦ ﾀﾉﾑﾄ ｲｸﾗ
[ｼﾞｬﾝﾄ ﾅﾘｬ ﾃﾝｶﾞ ﾅｰｸ] ｻﾃ ｻﾝﾃﾞｰ ﾅﾝｺﾞｳ ｹｲｻｲ
TVｼﾘｰｽﾞﾃﾞ ｼﾉﾌﾞｶﾞ ｶｵｳﾄｼﾀ ｹｼｮｳﾋﾝ ｼﾒﾃ ｲｸﾗ
ﾘｭｳﾉｽｹﾉｵﾔｼﾞｶﾞｺﾀﾂﾈｺﾆ ｳｯﾀ ｱｲｽｷｬﾝﾃﾞｨﾉ ｵﾈﾀﾞﾝﾊ
ｺｳﾁｮｳﾊ ｺｳﾁｮｳｼﾂﾃﾞ ﾅﾝﾏｲﾉ ｻﾗｦ ﾏﾜｼﾃｲﾀｶ
ｻｸﾗﾆ ﾀﾙｦ ｵﾊﾗｲｼﾃﾓﾗｲﾆ ｷﾀﾉﾊ ﾅﾝﾆﾝ
ｼｭｳﾀﾞﾝﾖｶﾞｦ ｼﾀﾉﾊ ﾅﾝﾆﾝ
ﾒｲｿｳｼﾞﾝｾｲｹﾞｰﾑﾃﾞ ｱﾀﾙｶﾞ ﾀﾞｼﾀ ﾄﾗﾝﾌﾟﾊ ﾅﾝﾏｲ
ｱｽｶﾄ ﾄﾝﾁｬﾝﾉ ｹｯﾄｳﾉﾄｷ ﾊﾚﾏｶﾞ ﾃﾞﾀﾉﾊ ﾅﾝｶｲ
CAO-2ｦ ﾂﾌﾞｿｳﾄｼﾃ ﾖｳｲｼﾀ ｵﾓﾘﾊ ﾅﾝﾄﾝ
ﾄｳｹﾞﾝｷｮｳﾚｰｽﾃﾞ ｺｰｽｹﾉ ｾﾞｯｹﾝﾊ ﾅﾝﾊﾞﾝ
ｹﾞﾝｻｸﾃﾞﾊ ﾗｸﾞﾋﾞｰﾉ ｼｱｲﾉﾄｷ ﾒﾝﾄﾞｳﾉ ﾂｹﾃｲﾀ ｾﾞｯｹﾝﾊ
ﾗｸﾞﾋﾞｰﾉ ｼｱｲﾉﾄｷ ｺｰｽｹﾉ ﾂｹﾃｲﾀ ｾﾞｯｹﾝﾊ
ﾐｽﾞﾉｺｳｼﾞ ｱｽｶｶﾞ ｱﾆﾆ ﾊｼﾞﾒﾃ ｱｯﾀﾉﾊ ﾅﾝｻｲﾉ ﾄｷ
ﾄﾓﾋﾞｷ ｺｳｺｳ 2ﾈﾝ4ｸﾐ TVﾃﾞﾊ ﾅﾝｶｲﾆ ｱﾙ
ﾄﾓﾋﾞｷ ｺｳｺｳ 2ﾈﾝ4ｸﾐ ｹﾞﾝｻｸﾃﾞﾊ ﾅﾝｶｲﾆ ｱﾙ
ﾒﾝﾄﾞｳﾉ ﾀﾝｼﾞｮｳﾋﾞﾊ 4ｶﾞﾂﾉ ﾅﾝﾆﾁ
ｶﾈﾂｷﾉ ｱﾙﾊﾞｲﾄ ｻﾝｶｼｬﾊ ﾅﾝﾆﾝ
ｻﾝﾃﾞｰﾉﾍﾞﾙｽﾞ ｢ｳﾙｾｲﾔﾂﾗ｣ﾀﾞｲ1ｶﾝﾉ ﾃｲｶﾊ
ﾛｾﾞｶﾞ KOｼﾀ UFOﾎﾞｶﾝﾉ ﾉﾘｸﾐｲﾝﾊ ﾅﾝﾆﾝ
ｺﾐｯｸｽ ﾀﾞｲ4ｶﾝﾉ ｼｮﾊﾝﾊ ﾅﾝｶﾞﾂﾆ ﾊｯｺｳ ｻﾚﾀｶ
ｹﾞﾝｻｸﾃﾞﾊ ﾍﾋﾞﾆ ｵﾄﾞﾗｻﾚﾀﾉﾊ ﾅﾝﾊﾞﾝﾒﾉ ﾋﾄ
ﾄｳｹﾞﾝｷｮｳﾚｰｽﾃﾞ ﾗﾑﾉ ｾﾞｯｹﾝﾊ ﾅﾝﾊﾞﾝ
ﾄｳｹﾞﾝｷｮｳﾚｰｽﾃﾞ ﾒﾝﾄﾞｳﾉ ｾﾞｯｹﾝﾊ ﾅﾝﾊﾞﾝ
TVｼﾘｰｽﾞﾉ ﾄｳｹﾞﾝｷｮｳﾚｰｽﾃﾞ ｱﾀﾙﾉ ｾﾞｯｹﾝﾊ ﾅﾝﾊﾞﾝ
ｹﾞﾝｻｸﾃﾞ ﾁｪﾘｰﾉ ﾆﾝｷﾞｮｳｶﾞ ｶﾝｾｲｼﾀﾉﾊ ｺﾞｺﾞﾅﾝｼﾞ
ｱﾀﾙﾉ ｱﾀﾏﾉﾅｶﾉ ｽｺﾞﾛｸ ﾌﾘﾀﾞｼﾆ ﾓﾄﾞﾙﾊ ﾅﾝﾊﾞﾝﾒ
ｹﾞﾝｻｸﾃﾞ ｢ﾁﾁﾖ ｱﾅﾀﾊ ﾂﾖｶｯﾀ｣ﾊ ﾅﾝｶﾞﾂﾉ ﾃﾞｷｺﾞﾄ
ﾍﾞﾝｹｲｶﾞ ｲｼﾞﾒﾀ ｵﾝﾅﾉ ｶｽﾞﾊ ﾅﾝﾆﾝ



▶ポンチョのラムちゃんぜひ見たい！

▲こちらが数当てクイズ

編集後記

■「マイ・アニメ」が休刊した。TVアニメは空前の高視聴率ラッシュだと言うのに、今のアニメ界の活気のなさはどうしたのだろう。だから、この会報のタイトルを〝ムーヴメント〟と名付けた。決意と期待を込めて……。 田

■梅雨はゆっくり身体を休め、夏に思いっきり動き回り、清々しい秋は、そうです！KACの大会です。 神

■アーーネ・ム・イ！ 秀

■はやくこんがり陽に焼けて、黒のタンクトップの似合う肌になりたいと思う私、真夏大好き人間のタカシくんでーす。 犬

■最近楽しい事とかワクワクドキドキする事がなくて、とても淋しい。これも偏に年齢（トシ）のせいなのかナ!? 佐

■せっかく書いてくれた手紙やハガキに、会員番号（中には住所・氏名も）が抜けている人が大勢います。会員番号は、第二の固有名詞です。もっと大切に！ 泰

■代々木一丁目から愛をこめて…。先着10名様入団無料。一日一芸。芸一筋教こにあり。 岡

■こたちゃんはどうしているのでしょうか？ 家のこたつを片付けようとしながら思わず背負ってしまいました。 藤

■バスルームの電気がこわれちまった。暗闇の中でお湯につかるのも、なかなかどうしてオツなもの。ふとんも好きだが、お風呂も好ましい。 森

■毎週イヤでも入ってくるセル画の山にK・A・C倉庫は埋もれそう。誰か整理手伝ってくれないかな。 金

速報!! ファン大会日程決定！

みんなとの約束通り、四国や裏日本にもいくよ！今から予定を組んで待っててネ。詳しくはいずれ発表します！

9月15日(月)	福岡	福岡郵便貯金ホール
16日(火)	松山	松山市民会館
17日(水)	広島	広島郵便貯金ホール
18日(木)	岡山	岡山市民文化ホール
24日(水)	山形	山形県民会館小ホール
25日(木)	仙台	仙台市民会館小ホール
26日(金)	東京	目黒区公会堂
27日(土)	東京	目黒区公会堂
29日(月)	金沢	金沢市民文化ホール
10月3日(金)	浜松	浜松勤労福祉会館
4日(土)	名古屋	愛知厚生年金会館
7日(火)	大宮	大宮市民会館
8日(水)	新潟	新潟市公会堂
9日(木)	京都	京都会館中ホール
10日(金)	大阪	万博ホール
11日(土)	札幌	道新ホール

ビデオカセット6・25発売

非売品

K・A・C特典 先着2,000名限り
LPジャケット用高橋留美子先生原画
復刻版ポスター（B2版）

Symphony うる星やつら ～回想～

	VHS	W88V6003	8,800円
	Beta	W88B6003	
7.25発売	LVD	W68L6003	6,800円
7.21発売	VHD	KTYM129	

「ラムちゃんフリークのみなさん!!『うる星やつら』は永遠に不滅です！」





K・A・C通販
予約受付中!!

注・目・し・よ・う・！

全問正解の栄誉に輝いたキミ！もちろん先着10名の人も含めて、K・A・Cの会報に名前を載せて表彰しちゃうぜ。ナ！ガンバロウ。

コンピューターソフト
試験に出る うる星やつら

DATA
5インチディスク2枚組（1ドライブ対応）
PC-8801/mKII/SR/TR/FR/MR
（FM音源ボード）完全対応
使用CG 計52枚
使用BGM ラムのラブソング/I・I・You&愛/Born To Be Free 他全24曲
定価 8,800円（送料サービス）

好評通信販売中！

――お問い合わせは――
キティ・アニメーション・サークル
☎03(379)3540電話受付月～金 午前10時～午後6時。

発売元：キティ・エンタープライズ

Movement!
6月26日号
夏
昭和61年4月1日 普通郵便許可
昭和61年6月26日発行
発行所■キティ・アニメーション・サークル事務局
〒150 東京都渋谷区代々木1-8-5 ☎03(379)3540
定価●290円